

仕様書

IoT 推進部

1. 件名

「IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」に係るOSSの技術検証のあり方等に関する調査

2. 目的

「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期/IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」(以下「本プロジェクト」という。)においては、セキュアな Society5.0 の実現に向け、様々な IoT 機器を守り、社会全体の安全・安心を確立するため、IoT システム・サービス及び中小企業を含む大規模サプライチェーン全体を守ることに活用できる『サイバー・フィジカル・セキュリティ対策基盤』の開発と実証に取り組んでいる。

近年、企業においても Open Source Software (以下「OSS」という。)の活用が進む中、安全な OSS の選定や脆弱性の管理など、OSS の利活用に起因するサプライチェーンセキュリティリスク対策の必要性が顕在化してきている。本調査では、OSS のセキュリティ確保に関して技術検証の実態事例を調査・分析することで、その課題と最適化された技術検証のあり方を提言することを目的とする。

3. 内容

以下の各業務の実施においては、本プロジェクトの研究開発計画概要について情報収集した上で、適時本プロジェクトのプログラムディレクター／サブプログラムディレクターと NEDO に相談の上行うこと。

(1) OSS を安全に活用するための技術検証活動に関する調査

- ① IoT 機器を開発・利用している各業界において、OSS を安全に活用する取組の実態を調査し、具体的な事例を含めてどのように活用されているかを、その背景や今後の見通しも含めて分析し報告する。
- ② サプライチェーンセキュリティリスクに対処するために OSS を安全に活用するための技術検証活動のあるべき姿及び技術検証の項目、検証のためのルール等を調査分析して報告する。

(2) 日本国内で実効的に機能する検証機関に必要な項目の提言

- ① 検証のためのルール作りや認証等を行う検証機関(検証センター)のあり方を国内外の実態調査を踏まえて、国内で実現するために必要な要件を調査する。
- ② 日本国内で実施可能かつ実効的な検証機関の制度・ルール・体制・手順などをまとめた指針書を作成する。

(3) その他

本プロジェクトのプログラムディレクター／サブプログラムディレクターと NEDO からの要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映すること。また、当該調査の実施により知り得た知

見・個人情報、当該調査のためだけに利用することとし、調査終了後は速やかに情報を破棄すること。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2022 年 7 月 22 日（金）まで

5. 報告書

提出期限：調査報告書 2022 年 7 月 22 日（金）

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上